

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ ディポジションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族のでいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

デーヴォ ガイド



2021.6.21-27

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

29:1 あなたは、彼らを祭司としてわたしに仕えるように聖別するため、次のことを彼らにしなければならない。すなわち、若い雄牛一頭、傷のない雄羊二頭を取れ。
29:2 種を入れないパンと、油を混ぜた種を入れない輪型のパンと、油を塗った種を入れないせんべいを取れ。これらは最良の小麦粉で作らなければならない。
29:3 これらを一つのかごに入れ、そのかごといっしょに、あの一頭の雄牛と二頭の雄羊とをささげよ。
29:4 アロンとその子らを会見の天幕の入口に近づかせ、水で彼らを洗わなければならない。
29:5 あなたは、装束を取り、アロンに長服とエポデの下に着る青服と、エポデと胸当てとを着せ、エポデのあや織りの帯を締めさせる。
29:6 彼の頭にかぶり物をかぶらせ、そのかぶり物の上に、聖別の記章を掛ける。
29:7 そそぎの油を取って、彼の頭にそそぎ、彼に油そそぎをする。
29:8 彼の子らを近づけ、彼らに長服を着せなければならない。
29:9 アロンとその子らに飾り帯を締めさせ、ターバンを巻きつけさせる。永遠のおきてによって、祭司の職は彼らのものとなる。あなたは、アロンとその子らを祭司職に任命せよ。
29:10 あなたが、雄牛を会見の天幕の前に近づけたなら、アロンとその子らがその雄牛の頭に手を置く。
29:11 あなたは、会見の天幕の入口で、主の前に、その雄牛をほふり、
29:12 その雄牛の血を取り、あなたの指でこ

れを祭壇の角につける。その血はみな祭壇の土台に注がなければならない。
29:13 その内臓をおおうすべての脂肪、肝臓の小葉、二つの腎臓と、その上の脂肪を取り、これらを祭壇の上で焼いて煙にする。
29:14 ただし、その雄牛の肉と皮と汚物とは、宿営の外で火で焼かなければならない。これは罪のためのいけにえである。
29:15 あなたは雄羊一頭を取り、アロンとその子らはその雄羊の頭に手を置かなければならない。
29:16 あなたはその雄羊をほふり、その血を取り、これを祭壇の回りに注ぎかける。
29:17 また、その雄羊を部分に切り分け、その内臓とその足を洗い、これらをほかの部分や頭といっしょにしなければならない。
29:18 その雄羊を全部祭壇の上で焼いて煙にする。これは、主への全焼のいけにえで、なだめのかおりであり、主への火によるささげ物である。

動物のささげものは命の犠牲を伴うものですから、イエス様のひな型です。またパンは粉を細かく挽くところから作られるので、それは砕かれた状態すなわち謙遜を表します。このように私たちも主のみこころを満足されるようささげものをしましょう。

ここでは祭司についての定めが記されています。主の働きをする者はこのように整えられる必要があります。祭司の装束は主によって贖われた者の状態を表し、動物を焼いて煙にするのは完全なる献身を表します。私たちも主の奉仕をするのだから、つまり良いことをしているのだから、それで良いじゃないかと安易に考えずに、主の働きにふさわしい者となることを望みましょう。私たちは新約の祭司です。十字架の救いと献身を新たに

て、行動しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたの中の部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



22日 火曜

出エジプト

29:19 あなたはもう一頭の雄羊を取り、アロンとその子らはその雄羊の頭に手を置く。
29:20 あなたはその雄羊をほぶり、その血を取って、アロンの右の耳たぶと、その子らの右の耳たぶ、また、彼らの右手の親指と、右足の親指につけ、その血を祭壇の回りに注ぎかける。
29:21 あなたが、祭壇の上にある血とそそぎの油を取って、アロンとその装束、および、彼とともにいる彼の子らとその装束とに振りかけると、彼とその装束、および、彼とともにいる彼の子らとその装束とは聖なるものとなる。
29:22 あなたはその雄羊の脂肪、あぶら尾、内臓をおおう脂肪、肝臓の小葉、二つの腎臓、その上の脂肪、および、右のももを取る。これは、任職の雄羊である。
29:23 主の前にある種を入れないパンのかごの丸型のパン一個と、油を入れた輪型のパン一個と、せんべい一個、
29:24 これらをみなアロンの手のひらと、その子らの手のひらに載せ、これらを奉獻物として主に向かって揺り動かす。
29:25 これらを、彼らの手から取り、全焼のいけにえといっしょに祭壇の上で焼いて煙とし、主の前になだめのかおりとする。これは、主への火によるささげ物である。
29:26 あなたはアロンの任職用の雄羊の胸を取り、これを奉獻物として主に向かって揺り動かす。これは、あなたの受け取る分となる。
29:27 あなたがアロンとその子らの任職用の雄羊の、奉獻物として揺り動かされた胸と、奉納物として、ささげられたももとを聖別す



るなら、
29:28 それは、アロンとその子らがイスラエル人から受け取る永遠の分け前となる。それは奉納物であり、それはイスラエル人からの和解のいけにえの奉納物、すなわち、主への奉納物であるから。
29:29 アロンの聖なる装束は、彼の跡を継ぐ子らのものとなり、彼らはこれを着けて、油そそがれ、祭司職に任命されなければならない。
29:30 彼の子らのうち、彼に代わって祭司となる者は、聖所で務めを行なうために会見の天幕にはいるとき、七日間、これを着なければならない。
29:31 あなたは任職用の雄羊を取り、聖なる場所で、その肉を煮なければならない。
29:32 アロンとその子らは、会見の天幕の入口で、その雄羊の肉と、かごの中のパンとを食べる。
29:33 彼らは、彼らを祭司職に任命し、聖別するための贖いに用いられたものを、食べる。ほかの者は食べてはならない。これらは聖なる物である。
29:34 もし、任職用の肉またはパンが、朝まで残ったなら、その残りは火で焼く。食べてはならない。これは聖なる物である。

雄羊の血を耳と指につけるのは、聞くことと行うことができよめられ、良い献身となることを表します。任職のためにも動物がささげられるのは、働きがきよめられて主のものとなることが必要だからです。
また食事について祭司だけの規定が書かれています。それは祭司が特別な存在であることを自覚させるためです。祭司たちはそのようにし、その働きには特別な責任があるのだと自覚したでしょ

う。新約の祭司である私たちも、責任を覚えそのような思いを持ち、行動しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



23日 水曜

出エジプト

29:35 あなたが、わたしの命じたすべてのことをそのおりに、アロンとその子らに行なったなら、七日間、任職式を行なわなければならない。

29:36 毎日、贖罪のために、罪のためのいけにえとして雄牛一頭をささげなければならない。祭壇のための贖いをするときには、その上に罪のためのいけにえをささげ、これを聖別するために油をそそぐ。

29:37 七日間にわたって祭壇のための贖いを行しなければならない。あなたがそれを聖別すれば、祭壇は最も聖なるものとなる。祭壇に触れるものもすべて聖なるものとなる。

29:38 祭壇の上にささげるべき物は次のとおりである。毎日絶やすことなく一歳の若い雄羊二頭。

29:39 一頭の若い雄羊は朝ささげ、他の一頭の若い雄羊は夕暮れにささげなければならない。

29:40 一頭の若い雄羊には、上質のオリーブ油四分の一ヒンを混ぜた最良の小麦粉十分の一エパと、また注ぎのささげ物として、ぶどう酒四分の一ヒンが添えられる。

29:41 もう一頭の若い雄羊は夕暮れにささげなければならない。これには朝の穀物のささげ物や、注ぎのささげ物を同じく添えてささげなければならない。それは、なだめのかおりのためであり、主への火によるささげ物である。

29:42 これは、主の前、会見の天幕の入口で、あなたがたが代々にわたって、絶やすことのない全焼のいけにえである。その所でわたしはあなたがたに会い、その所であなたと語る。



29:43 その所でわたしはイスラエル人に会う。そこはわたしの栄光によって聖とされる。

29:44 わたしは会見の天幕と祭壇を聖別する。またアロンとその子らを聖別して、彼らを祭司としてわたしに仕えさせよう。

29:45 わたしはイスラエル人の間に住み、彼らの神となろう。

29:46 彼らは、わたしが彼らの神、主であり、彼らの間に住むために、彼らをエジプトの地から連れ出した者であることを知るようになる。わたしは彼らの神、主である

「その所でわたしはあなたがたに会い、その所であなたと語る。」と、主が幕屋において約束してくださいました。新約においてはイエス様の十字架によって、私たちは主の子どもなので、どこでも主は私たちと会い、また語ると言ってくださいます。

そのためには罪ある私たちは、毎日赦しのために犠牲をささげなければなりません。ただしそれは旧約のように動物の犠牲ではありません。イエス様がその犠牲となってください、血によってとりなしてくださいと聖書にあります。

日々イエス様に感謝しましょう。そして御声を聞き、交わり、従いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



30:1 あなたは、香をたくために壇を作る。それは、アカシヤ材で作らなければならない。
 30:2 長さ一キュビト、幅一キュビトの四角形で、その高さは二キュビトでなければならない。その一部として角をつける。
 30:3 それに、上面と回りの側面と角を純金でかぶせる。その回りに、金の飾り縁を作る。
 30:4 また、その壇のために、その飾り縁の下に、二つの金環を作らなければならない。相対する両側に作らなければならない。これらは、壇をかつぐ棒を通す所となる。
 30:5 その棒はアカシヤ材で作り、それに金をかぶせる。
 30:6 それをあかしの箱をおおう垂れ幕の手前、わたしがあなたとそこで会うあかしの箱の上の『贖いのふた』の手前に置く。
 30:7 アロンはその上でおりの高い香をたく。朝ごとにともしびをととのえるときに、煙を立ち上らせなければならない。
 30:8 アロンは夕暮れにも、ともしびをとむすときに、煙を立ち上らせなければならない。これは、あなたがたの代々にわたる、主の前の常供の香のささげ物である。
 30:9 あなたがたは、その上で異なった香や全焼のいけにえや穀物のささげ物をささげてはならない。また、その上に、注ぎのぶどう酒を注いではならない。
 30:10 アロンは年に一度、贖罪のための、罪のためのいけにえの血によって、その角の上で贖いをする。すなわち、あなたがたは代々、年に一度このために、贖いをしなければならない。これは、主に対して最も聖なるものである。」

30:11 主はモーセに告げて仰せられた。
 30:12 「あなたがイスラエル人の登録のため、人口調査をするとき、その登録にあたり、各人は自分自身の贖い金を主に納めなければならない。これは、彼らの登録によって、彼らにわざわいが起こらないためである。
 30:13 登録される者はみな、聖所のシェケルで半シェケルを払わなければならない。一シェケルは二十ゲラであって、おのおの半シェケルを主への奉納物とする。
 30:14 二十歳、またそれ以上の者で登録される者はみな、主にこの奉納物を納めなければならない。
 30:15 あなたがた自身を贖うために、主に奉納物を納めるとき、富んだ者も半シェケルより多く払ってはならず、貧しい者もそれより少なく払ってはならない。
 30:16 イスラエル人から、贖いの銀を受け取ったなら、それは会見の天幕の用に当てる。これは、あなたがた自身の贖いのために、主の前で、イスラエル人のための記念となる。」

香をたくための壇の構造についての規定が書かれています。香は黙示録に「この香は聖徒たちの祈りである。」とあるように、祈りを表します。それは純金のように尊いものです。私たちが日々祈りますが、それはいかなる祈りであっても主にささげられる善きものであることを覚えましょう。またそれは「購いをする」必要があります。つまりイエス様の十字架によって、私たち罪びとの祈りが聞かれるのだということを忘れないようにしましょう。またそれゆえ謙遜でありましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたの中の部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



25日 金曜

出エジプト



30:17 主はまたモーセに告げて仰せられた。
30:18 「洗いのための青銅の洗盤と青銅の台を作ったなら、それを会見の天幕と祭壇の間に置き、その中に水を入れよ。
30:19 アロンとその子らは、そこで手と足を洗う。
30:20 彼らが会見の天幕にはいるときには、水を浴びなければならない。彼らが死なないためである。また、彼らが、主への火によるささげ物を焼いて煙にする務めのために祭壇に近づくときにも、
30:21 その手、その足を洗う。彼らが死なないためである。これは、彼とその子孫の代々にわたる永遠のおきてである。」
30:22 ついで主はモーセに告げて仰せられた。
30:23 「あなたは、最上の香料を取れ。液体の没薬五百シケル、かおりの強い肉桂をその半分・・二百五十シケル・・、におい菖蒲二百五十シケル、
30:24 桂枝を聖所のシケルで五百シケル、オリーブ油一ヒン。
30:25 あなたはこれらをもって聖なるそそぎの油を、調合法にしたがって、混ぜ合わせの香油を作る。これが聖なるそそぎの油となる。
30:26 この油を次のものにそそぐ。会見の天幕、あかしの箱、
30:27 机とそのいろいろな器具、燭台とそのいろいろな器具、香の壇、
30:28 全焼のいけにえのための祭壇とそのいろいろな器具、洗盤とその台。
30:29 あなたがこれらを聖別するなら、それは、最も聖なるものとなる。これらに触れる

ものもすべて聖なるものとなる。

30:30 あなたは、アロンとその子らに油をそそぎ、彼らを聖別して祭司としてわたしに仕えさせなければならない。

30:31 あなたはイスラエル人に告げて言わなければならない。これはあなたがたの代々にわたって、わたしのための聖なるそそぎの油となる。

30:32 これをだれのからだにもそそいではならない。また、この割合で、これと似たものを作ってはならない。これは聖なるものであり、あなたがたにとっても聖なるものとしなければならない。

30:33 すべて、これと似たものを調合する者、または、これをほかの人につける者は、だれでもその民から断ち切られなければならない。」

30:34 主はモーセに仰せられた。「あなたは香料、すなわち、ナタフ香、シェヘレテ香、ヘルベナ香、これらの香料と純粋な乳香を取れ。これはおのおの同じ量でなければならない。

30:35 これをもって香を、調合法にしたがって、香ばしい聖なる純粋な香油を作る。

30:36 また、そのいくぶんかを細かに碎き、その一部をわたしがあなたとそこで会う会見の天幕の中のあかしの箱の前に供える。これは、あなたがたにとって最も聖なるものでなければならない。

30:37 あなたが作る香は、それと同じ割合で自分自身のために作ってはならない。あなたは、それを主に対して聖なるものとしなければならない。

30:38 これと似たものを作って、これかぐ者はだれでも、その民から断ち切れ

る。」

ヘブル書には「そのようなわけで、私たちは、心に血の注ぎを受けて邪悪な良心をきよめられ、からだをきよい水で洗われたのですから、全き信仰をもって、真心から神に近づくことはありませんか。(10:22)」とあります。これは洗盤の水によってきよめられたことが、主イエスの十字架の型であったことを表します。

次に奉仕のための油について命じられています。油は聖霊を表すもので、これは主の働きのためには聖霊が不可欠であることを表します。

きよめられ、さらには聖霊の満たしをいただいて、主の働きを進めてゆきましょう。そうするならば素晴らしい結果が与えられます。

①神のみこころは？(信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど)

②どんな思いになりましたか？(感情や願いなど)

③生き方にどう適用しますか？(あなたその部分を主は扱おうとしておられますか)

④この世にあって何を実践しますか？



31:1 主はモーセに告げて仰せられた。
31:2 「見よ。わたしは、ユダ部族のフルの子であるウリの子ベツアルエルを名ざして召し、
31:3 彼に知恵と英知と知識とあらゆる仕事において、神の霊を満した。
31:4 それは、彼が、金や銀や青銅の細工を巧みに設計し、
31:5 はめ込みの宝石を彫り、木を彫刻し、あらゆる仕事をするためである。
31:6 見よ。わたしは、ダン部族のアヒサマクの子オホリアブを、彼のもとに任命した。わたしはすべて心に知恵のある者に知恵を授けた。彼らはわたしがあなたに命じたものを、ことごとく作る。
31:7 すなわち、会見の天幕、あかしの箱、その上の『贖いのふた』、天幕のあらゆる設備品、
31:8 机とその付属品、純金の燭台と、そのいろいろな器具、香の壇、
31:9 全焼のいけにえの祭壇と、そのあらゆる道具、洗盤とその台、
31:10 式服、すなわち、祭司として仕える祭司アロンの聖なる装束と、その子らの装束、
31:11 そそぎの油、聖所のためのかおりの高い香である。彼らは、すべて、わたしがあなたに命じたとおりに作らなければならない。」

主の臨在を表す幕屋の聖なる器具などを作るために、主は特別に二人を任命しました。私たちもまた主を表すものですから、この二人のように使命が与えられています。私たちも同じように「名指し」で召されたのです。

それゆえ聖霊によって能力が与えられます。人生の成功者となるためには、主の召しに従いつつ聖霊

によって生きることです。主はオホリアブのような協力者をも与えてくださり、成功へと導いてくださいます。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



31:12 主はモーセに告げて仰せられた。
 31:13 「あなたはイスラエル人に告げて言え。あなたがたは、必ずわたしの安息を守らなければならない。これは、代々にわたり、わたしとあなたがたとの間のしるし、わたしがあなたがたを聖別する主であることを、あなたがたが知るためのものなのである。
 31:14 これは、あなたがたにとって聖なるものであるから、あなたがたはこの安息を守らなければならない。これを汚す者は必ず殺されなければならない。この安息中に仕事をする者は、だれでも、その民から断ち切られる。
 31:15 六日間は仕事をしてよい。しかし、七日目は、主の聖なる全き休みの安息日である。安息の日に仕事をする者は、だれでも必ず殺されなければならない。
 31:16 イスラエル人はこの安息を守り、永遠の契約として、代々にわたり、この安息を守らなければならない。
 31:17 これは、永遠に、わたしとイスラエル人との間のしるしである。それは主が六日間に天と地とを造り、七日目に休み、いこわれたからである。」
 31:18 こうして主は、シナイ山でモーセと語り終えられたとき、あかしの板二枚、すなわち、神の指で書かれた石の板をモーセに授けられた。

以前に命じられた「安息の日」について、ここでも再び命じられています。それほど安息日は重要であるということです。それは「わたし（主）があなたがた（民）を聖別する主であることを、あなたがたが知るためのものなのである。」とあります。言い方を換えるなら、安息日を守らないなら、主がどういう方なのか分からなくなるということです。

私たちはこの世、すなわち神様を計算に入れないうで人間の勝手によって動いている世界に生きています。やがて神様がその主権を明らかにするのですが、それまではまるで神様などいないかのような考えの中にいるのです。

ですから私たちはこの世から離れて、神様の前にひれ伏す必要があるのです。世界中に二十数億のクリスチャンがいますが、皆同じです。神様がいないければ宇宙も人間も存在しないということは当然ですが、それでもそのことを忘れないようにしなくてはなりません。

たましいの飢え渴きは、そうとうに進んだ状態でなければ、これに気づくことができません。毎週主のもとへ帰りましょう。そして安息をいただきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

